

(仮称)北屋敷公園 ワークショップ

第2回 ニュースレター



第1回ワークショップで出た意見を踏まえて、グループごとに公園の利用の仕方などの意見を出し合いました。

第2回(全4回)の話し合いの様子をお伝えします。



開催日 : 2021年12月16日(木)
19:00~21:00

会場 : 野田市民館

参加者 : 16名

オブザーバー : 稲垣地区長
竹内前地区長

意見交換会の内容

1. (仮称)北屋敷公園をつくろう!
テーマ:「公園のレイアウトを考えよう!」
2. グループ意見発表

1 あいさつ

- ・ワークショップの開会にあたり、地区を代表して稲垣地区長より、開会の挨拶がありました。

第2回では公園のレイアウトを決めていきます。徐々に公園の形が見えてくると思います。10年、20年愛される公園を目指して、他の公園にはない面白い魅力が生まれるといいなと思っています。



稲垣地区長

2 はじめに

- ・今回の進め方、全体スケジュールの確認の後、第1回ワークショップの内容をふりかえりました。

ワークショップの流れ



第1回ワークショップのまとめ

Aグループ

自然と歴史をベースとした
多様な機能のある公園

Bグループ

ゆったり、まったりとした
静かな雰囲気のある公園

Cグループ

多世代で楽しめる
アクティブな公園

【意見交換会】

1 (仮称)北屋敷公園をつくろう!

- ・第1回ワークショップの意見をもとに設定した整備方針(案)と、土地の利用状況から公園を4つのブロックと緩衝帯、周遊動線に分けました。

■整備方針(案)と利用イメージからなる必要なスペース

整備方針(案)	必要なスペース
広場空間	広場空間や施設が設置できる 広いスペース
遊具 便益施設	広いスペース
周遊動線	公園全体にアクセス可能な 回遊動線
四季・自然	公園全体
防犯・安全	公園全体
隣接地の配慮	緩衝帯



<テーマ>
~地域に寄り添う"豊か"な公園~

豊かな公園を目指す3つのキーワード

【緑・健康・世代】

- ①緑 : 全体が緑で囲まれた公園
- ②健康 : ココロ(静)と体(動)の健康促進ができる公園
- ③世代 : 多世代で利用ができる愛される公園

<ブロック③の池について>

- ・池の北西側や法面の高低差のところから湧水がある。
- ・昔の地形から、この場所が台地と谷の接点であり、人が古くから定着していた理由が分かる。
- ・水深は3cmくらいで、メダカ、カワセミがいる。
- ・多様な生態系が残されている。
- ・古い地図でも池が描かれていることから、水が湧いていることが分かり、水が枯れることはないと思われる。

・グループワーク 「公園のレイアウトを考えよう！」では、

- I) 公園レイアウトの考え方
 - II) ブロック③の利用の仕方
 - III) ブロック④の利用の仕方
 - IV) ブロック①、②の利用の仕方
- の4点について、グループごとに意見を出し合いました。



2 意見発表

グループ意見発表

・グループごとにまとめた意見を発表し、それぞれの内容を確認しました。

Aグループ

I) 公園レイアウトの考え方

- ・ブロック分け、緩衝帯については基本的に良い
- ・入り口は3箇所もいらない
- ・池を巡る道もほしい



II) ブロック③の利用の仕方

- ・池を残すが、安全管理は必須
- ・維持管理を地元だけで行うのは大変で、管理は難しい
- ・今の環境を活用(メダカ・ホタル)



III) ブロック④の利用の仕方

- ・土を盛って周遊動線をまわしたい
- ・部分的に土を盛って、花壇や自転車置き場などエントランスとしての使い方
- ・今ある場所を活用できる空間にしたい



IV) ブロック①、②の利用の仕方

- ・基本的には、広場は芝生で良い

Cグループ

I) 公園レイアウトの考え方

- ・ブロック分け、緩衝帯については基本的に良い
- ・ブロック④も使い、周遊動線は最低でも約200mはほしい



II) ブロック③の利用の仕方

- ・小さいお子さんが入ると危ないので、池は埋めてブロックを増やす
- ・池の跡地では、季節を感じられるような空間に

III) ブロック④の利用の仕方

- ・子供が飛び出さないように、道路と隣接する範囲は、背の高いフェンスを設置
- ・公園の顔となるような花壇を設置



IV) ブロック①、②の利用の仕方

- ・周遊動線沿いに、健康遊具や遊具を設置
- ・休憩ができるように四阿、ベンチを設置し、全体を見渡せるように
- ・〇〇公園と呼ばれるようなシンボリックな遊具



Bグループ

I) 公園レイアウトの考え方

- ・ブロック分け、緩衝帯については基本的に良い

II) ブロック③の利用の仕方

- ・池は、排水をとって子どもが入れるような浅瀬の空間



III) ブロック④の利用の仕方

- ・公園の顔となるような花壇を設置
- ・土を盛るか、盛らないか、など両方の意見



IV) ブロック①、②の利用の仕方

- ・自然(高低差、池)を活かすために、ブロック①とブロック②を南北に分ける
- ・南側では、池から遠く、フラットな空間であることからボール遊びなど動きのある遊び
- ・北側では、ゆったりまったりできる空間



グループ意見のまとめ

- ・グループワークで3つのグループから出た意見をまとめました。

I) 公園レイアウトの考え方
ブロック分け、緩衝帯については基本的に良い
・周遊動線が短いことが課題等

II) ブロック③の利用の仕方
湿地的な利用
・安全性、維持管理の確保が課題
・季節感のある利用イメージ等

IV) ブロック①、②の利用の仕方
広場としての利用
・芝生広場、森の復元を求める意見
・ブロック分けを南北にする意見等

III) ブロック④の利用の仕方
利用に応じた整備
・土を盛る、盛らない、の併用もあり
・エントランスとして利用等



今回いただいた意見を参考に、新たな公園のレイアウトを提示します。第3回では、公園の施設を決めていきます。

3 まとめ

- ・稲垣地区長より、閉会の挨拶がありました。

今回もいろんな意見が数多く出て、とても良かったと思います。こうした皆さんの意見が反映され、親しみのある公園になるとと思います。

次回のワークショップは
2月3日(木)19:00~
開催です!